

地域再造林推進WGにおける対策の実施状況

※再造林面積及び再造林率の推移

| | 皆伐面積 (ha) | 再造林 面積(ha) | 再造林率 | | | | | |
|--------|--------------|---------------|------|-----|-------|--|-----|-----|
| | | | 単年 | 累積 | 3ヶ年平均 | | | |
| 平成30年度 | 304 | 96 | 32% | 32% | 31% | | | |
| 令和元年度 | 317 | 86 | 27% | 29% | | | | |
| 令和2年度 | 316 | 105 | 33% | 31% | 20% | | | |
| 令和3年度 | 699 | 78 | 11% | 22% | | | | |
| 令和4年度 | 565 | 169 | 30% | 24% | | | 24% | |
| 令和5年度 | 602 | 199 | 33% | 26% | | | | |
| 令和6年度 | 563 | 204 | 36% | 28% | | | | 33% |

1 地域WGにおける取組

| 主な課題 | 今年度の取り組み内容 | 具体的な取組・課題 |
|--|--|--|
| ①森林の適切な経営管理 ・ 森林所有者が森林経営に関心がない（維持管理の費用・責任が重荷） 森林経営計画策定面積の拡大 | ○ 森林所有者に対する所有山林の把握支援と責任・義務の周知方法の検討 ○ 森林所有者の再造林に対する意識の醸成 ○ 森林所有者等に対する各種補助制度等の普及啓発 ○ 主伐と再造林の一貫作業の実証林の普及啓発 ○ J-クレジット制度の活用に関する支援 ○ 森林環境譲与税による再造林推進のための市町村事業の活用 ○ 施業の集約化等による森林経営計画の新規作成に向けた検討や森林経営管理事業の実施等、持続的な森林経営に向けた取り組みについて支援 | ◇ 伐採業者と連携した、森林所有者に対する再造林の必要性の普及啓発 ◇ 素材生産業者等に再造林関連の補助制度を理解してもらおう（森林所有者に働きかける際の材料として活用） ◇ 一貫作業に取り組む事業者への支援 ◇ J-クレジットの創出を図る事業者への支援及び他事業者への制度の周知 ◇ 市町村独自ビジョンの作成を検討 |

| 主な課題 | 今年度の取り組み内容 | 具体的な取組・課題 |
|--|--|--|
| ②造林作業の省力化・効率化 ・ 作業員の確保・定着が進まない | ○ 人材の確保・育成に向けた情報提供や各種研修への積極的な参加やスマート林業の活用を支援 | ◇ 木材業者登録者に再造林作業等の受注可否や、直接実施の意向を問うアンケート調査を実施 (木材業者登録者自らが再造林を推進するセールスマンとなっただくことを期待) |
| ③伐採作業と造林作業の連携 ・ 林地保全に配慮した伐採・搬出・再造林のルールが必要 ・ 主伐地の情報の共有(伐採届情報の共有等) | ○ 伐採・再造林に対する地域ガイドライン等の検討・作成 ○ 関係者へのガイドラインの周知 ○ 伐採届出制度等の適正な運用に係る助言・指導 ○ 伐採情報の共有と再造林箇所の把握 ○ 伐採業者と造林業者の情報共有と連携を目的とした連絡会議の開催 | ◆ ガイドラインを地域の行動規範として周知・定着・活用させることが課題 ◇ 伐採及び伐採後の造林の届出の窓口対応に関するロールプレイングを実施 ◇ 市町村に伐採情報共有が円滑に行われるよう働きかけ |
| ④苗木の安定供給体制の構築 ・ コンテナ苗の生産技術の確立と効率化、コスト縮減 ・ コンテナ苗の安定的な生産と供給 | ○ 苗木の安定供給に向け、苗木生産業者における資機材導入への支援や育成のための技術指導・助言の実施 | ◇ 苗畑への積極的な巡回指導を行い、生産量の増産を支援する補助制度の紹介や、得苗率向上に向けた技術情報の提供などを行う |
| ⑤獣害対策の強化 ・ シカ被害は深刻な状況であり、被害防除対策の強化が必要 | ○ 猟友会等捕獲者等、地域が一体となったシカ被害対策の推進 ○ 地域の実情に応じた防護技術の検討 | ◇ 専門家からのアドバイスや猟友会の協力を得ながら、防護と捕獲の合わせ技によるシカ被害未然防止の効果的な方策を模索 ◇ モデル林における単木保護や、大苗木の植栽、金網防護柵の試行設置など、施工性や積雪、強風への耐性などについて比較実証を行う ◆ ノウサギの被害がシカ被害より深刻な地域もあり、新たな対策が必要 |

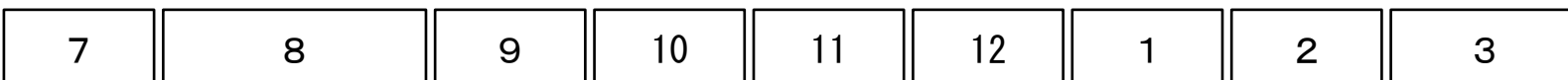
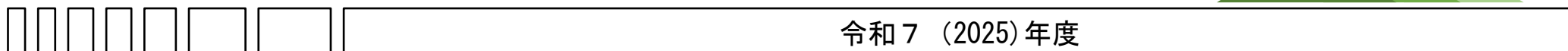
2 地域再造林推進WGの実施状況

| 地区 | 構成員 | 開催状況 (R7.8.8現在) |
|----------|---|-----------------|
| 岡山 | 林業普及指導員等、岡山市、吉備中央町、岡山森林組合、びほく森林組合 | 全体会議 1回、個別 3回 |
| 東備 | 林業普及指導員等、備前市、赤磐市、和気町、美作東備森林組合東備地区 | 全体会議 1回、個別 2回 |
| 倉敷 井笠 | 林業普及指導員等、倉敷市、総社市、早島町、笠岡市、井原市、浅口市、里庄町、矢掛町、備中南森林組合、井原市森林組合 | 全体会議 1回、個別 11回 |
| 高梁 | 林業普及指導員等、高梁市、びほく森林組合、ナカヤマ建設(株)、(株)川上林業 | 全体会議 (1回)、個別 5回 |
| 新見 | 林業普及指導員等、新見市、岡山県森林組合連合会新見支所、新見市森林組合、(株)戸川木材、(有)杉産業、(株)金山林業、(有)小田工務店、(株)YAMATO 林業、(合同)バイオマスサプライ、津山総合木材市場、 | 全体会議 1回、個別 2回 |
| 津山 | 林業普及指導員等、津山市、鏡野町、津山市森林組合、作州かがみの森林組合、院庄林業(株)(森林所有者)、津山地区猟友会、鏡野地区猟友会 | 全体会議 1回、個別 1回 |
| 真庭 | 林業普及指導員等、真庭市、新庄村、真庭森林組合、びほく森林組合、服部興業(株)、国六(株)、岡山県北部素材生産協同組合(三謳(株)、(有)向井林業)、うじひら木材産業(株)、真庭木材市売(株)岡山県森林組合連合会勝山支所、真庭地区木材組合 | 全体会議 1回、個別 4回 |
| 勝英 | 林業普及指導員等、美作市、勝央町、奈義町、西粟倉村、美作東備森林組合、奈義町森林組合、(株)板坂林業、(有)森岩木材、(株)いざなぎ創林、猟友会勝英支部奈義分会 | 全体会議 1回、個別 2回 |
| 計 | — | 全体会議 7回、個別 30回 |

確実な再造林に向けた対策検討会議スケジュール



令和7（2025）年度



| | | | |
|------|---|---|--------|
| 検討会議 | 検討課題解決に向けた取組 ①森林経営計画の策定による計画的な森林整備の推進 ②所有者負担ゼロの再造林仕組み構築 ③長期管理受託の促進 ④造林・保育従事者の育成手法の検討 ⑤地域再造林検討・取組状況報告 | 検討課題解決に向けた取組 ①森林経営計画の策定による計画的な森林整備の推進 ②所有者負担ゼロの再造林仕組み構築 ③長期管理受託の促進 ④造林・保育従事者の育成手法の検討 ⑤地域再造林検討・取組状況報告 | 取組結果報告 |
|------|---|---|--------|

▲ 中間報告

| | | | | |
|---------|--|--|--------|----------------------|
| 地域再造林WG | コーディネーターとの連携による伐採業者・造林業者等を通じた森林所有者への働きかけ | コーディネーターとの連携による伐採業者・造林業者等を通じた森林所有者への働きかけ | 取組結果報告 | 検討会議 検討状況の共有、対応策等 |
| | 伐採・再造林に係るガイドライン等共通ルールの作成・推進 | 伐採・再造林に係るガイドライン等共通ルールの作成・推進 地域の行動規範として周知・定着・活用 | | |
| | 市町村独自のビジョン作成等によるゾーニングの設定 経営適地での森林経営計画作成推進 | 市町村独自のビジョン作成等によるゾーニングの設定 経営適地での森林経営計画作成推進 | | |
| | 森林所有者等への伐採届出制度の適正な運用の周知 | 森林所有者等への伐採届出制度の適正な運用の周知 | | |
| | 担い手の育成確保 伐採業者等による再造林・下刈りの促進 | 職場環境の改善(働きやすい職場づくり) 伐採業者等による再造林・下刈りの促進 | | |
| | 新たな財源を活用した具体的な施策の検討 | 森林環境譲与税等を活用した市町村施策の検討・推進 J-クレジットの創出を図る事業体への支援 | | |
| | 獣害対策の推進 | 猟友会等捕獲者等、地域が一体となったシカ被害対策の推進 ノウサギ被害対策の検討・推進 | | |
| | その他、地域毎の課題解決に向けた実践・結果の検討 | 地域毎の課題解決に向けた実践・結果の検討 | | |

各検討結果に基づく確実な再造林の実践

※必要に応じて、伐採・再造林連携推進部会及び森林経営計画策定推進検討部会を開催する。